

令和6年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市ふれあいセンター広丘		
所在地	塩尻市大字広丘堅石2150番地1		
指定管理者名	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日 （5年間のうち5年目）		
募集方法	公募	施設担当課	健康福祉部 地域共生推進課

1 業務実績（指定管理者）

当初計画		実 績	
【コミュニティソーシャルワーカーの設置】		【コミュニティソーシャルワーカーの設置】	
1 総合相談事業		1 総合相談事業	
・相談件数	(530件)	・相談件数	(1,020件)
		福祉相談	485件
		ボランティア相談	43件
		有償福祉サービス	262件
		福祉学習	84件
		地域支援	134件
		介護相談	12件
		・健康相談	5,003件
		・相談形式	
		電話	405件
		訪問	172件
		来所	255件
		会議	134件
		(来所件数に健康相談は含まない)	
【北部圏域の地域福祉活動の推進】		【北部圏域の地域福祉活動の推進】	
1 支え合い講座・出前講座		1 支え合い講座・出前講座	
・担い手の育成講座	3回 60人	・担い手の育成講座	
		有償サービスサポーター、お助け隊活動紹介講座	2回 20人
・その他講座（新）		地域福祉ワークショップ（認知症から考える）	1回 33人
2 ふれあいセンター広丘まつり	1回	2 ふれあいセンター広丘まつり	
		ふれフェス（ふれあいフェスティバル）	1回 157人
		10年目感謝祭	1回 235人
3 社協支部分会や関係団体等との連携		3 社協支部分会や関係団体等との連携	
		地域ケア会議等参加	2地区 7回
		支部総会	3地区
		支部福祉懇談会	3地区
		民生児童委員協議会への参加	4地区 10回
		お助けネット片丘サポーター情報交換会	1回
		住民福祉活動の支援	
		吉田東公民館 おさがり会	3回
		カレー大作戦	4回
		住民活動（オレンジリボンフェスタ）	1回
4 福祉学習の支援		4 福祉学習の支援	
・住民等と協力し、福祉に関する啓発講座開催		・公民館事業、住民団体への協力	8回
・学校での福祉学習への協力		・広陵、丘中学校、桔梗、広丘小学校	19回
		・市内3高校文化祭にてフードドライブ実施	1回

5 災害対策事業	5 災害対策事業
	高出5区地区防災訓練参加・備蓄品確認 2回
【介護予防・認知症予防の推進】	【介護予防・認知症予防の推進】
1 介護予防・認知症予防講座	1 介護予防・認知症予防講座
(1) 介護予防・認知症予防講演会の開催	(1) 介護予防・認知症予防講演会の開催
4回 50人/回	健康寿命のびのび講座 3回 103人
(2) 機能訓練室の運営	(2) 機能訓練室の運営
・健康運動教室 全4期(10人×3教室×4期)	健康運動教室 全4期(10人×3教室×4期)
延1,400人	延参加人数 1,103人
	フォローアップ講座 1回 20人
2 認知症サポートセンター	2 認知症サポートセンター
・認知症介護相談 24回	・認知症介護相談 24回 9件
・オレンジカフェ開催 24回	・オレンジカフェ開催 24回 337人
・認知症サポーター養成講座 15回	・カフェ事例報告(北小野公民館・東部共催学習会) 1回
・認知症地域支援推進員会議 6回	・認知症サポーター養成講座 14回 91人
	・認知症地域支援推進員会議 6回
	・チームオレンジ準備会 1回 20人
	・アルツハイマー月間に啓発活動への取り組み (チラシ、書籍、書込みコーナー設置) 1回
	・認知症ステップアップ講座 2回 18人
【地域福祉ネットワークづくり】	【地域福祉ネットワークづくり】
1 北部圏域福祉ネットワーク構築	1 北部圏域福祉ネットワーク構築
	地域ケア推進会議等参加 4地区 19回
	・高出地区支え合い推進会議 1回
	・高出1区役員研修会 1回
	・高出2区支え合い事業特別委員会 6回
	・高出5区地区防災訓練参加、防災倉庫確認 各1回
	・片丘地域包括ケア学習会、懇談会、座談会 4回
	・吉田地区対話集会 1回
	・吉田1区役員研修会 2回
	・広丘野村分会総会 1回
	・分会役員研修会(野村、吉田5区) 各1回
	・北熊井居場所づくり支援 1回
	民児協地区会への参加 4地区 10回
	・塩尻東民生児童委員視察 1回
	交通課題チーム会議、長野市視察 9回、視察1回
	・移動支援学習会 1回
2 有償サービス事業の実施	2 有償サービス事業の実施
・有償福祉サービスの拡充	・有償福祉サービスの拡充
	(北部圏域)
	サービス提供回数 166回
	活動時間 198時間
	新規相談 23件
	利用者新規登録 6件
	サポーター新規登録 6人
	(全市)
	利用者登録人数 127人
	サポーター登録人数 68人
・活動者の育成 3回	・活動者の育成、周知
	サポーター養成講座 2回 20人
	サポーター事業説明会・連絡会 2回 20人
	ボランティアの集いブース 1回
	福祉サポーター養成講座 1回
	子育てサポーター養成講座 1回

【世代間交流事業】	【世代間交流事業】
1 ふれあいセンター広丘地区交流事業	1 ふれあいセンター広丘地区交流事業 ・ふれフェス（3センター共催） 1回 157人 ・ふれひろ10年目感謝祭 1回 235人 ・ふれひろハッピーアワー 12回 182人 ・若い世代の居場所 6回 27人
2 図書コーナーの利用	2 図書コーナーの利用 貸出 114 冊
【利用者の福祉の増進】	【利用者の福祉の増進】
1 北部圏域の講座の開催 高齢者の生きがいと健康づくり講座 （１）生きがい講座（地区講座） 72回（6地区各12回） （２）介護予防講座 5講座 各12回	1 北部圏域の講座の開催 高齢者の生きがいと健康づくり講座 （１）生きがい講座（地区講座） 広丘・野村・片丘・郷原堅石・原新田・吉田地区 72回 805人 （２）介護予防講座 背骨コンディショニング講座 12回 180人 3B体操講座 12回 178人 銭太鼓講座 12回 271人 音楽で元気講座 12回 263人 初めてのクラフト講座 12回 74人
2 団体利用の会場提供	2 団体利用の会場提供 地区、社協支部分会、関係福祉団体、住民グループ 747団体 9,531人
3 バス運行業務	3 バス運行業務 講座 125回 団体 46回 171件
4 利用者からの意見聴取の実施	4 利用者からの意見聴取の実施 利用者アンケート（一般利用者、講座受講者、団体利用者） 年 1回 社会福祉協議会苦情解決に関する委員会 年1回 ご意見箱の設置 10件
【喫茶・食堂の運営】	【喫茶・食堂の運営】
（１）憩いの場・食事の提供 営業時間11時30分～13時30分 休館日を除く火曜日～日曜日	（１）憩いの場・食事の提供 営業時間11時30分～13時30分 休館日を除く火曜日～日曜日 販売食数食 7,203食
（２）障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供	（２）障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供 ホール業務を就労支援事業所みどりが丘に委託
（３）障害者就労支援事業所製品販売協力	（３）障害者就労支援事業所製品販売協力 4事業所の製品を常設
【施設維持管理】	【施設維持管理】
1 管理保守点検等業務 ・建築物保守管理業務 1回/週 受電設備点検業務 1回/2月 消防用設備点検業務 2回（4,12月） 1回（12月） エアコン保守点検業務 2回（6,3月） 自動ドア保守点検業務 3回（7,11,3月） ボイラー保守点検業務 2回（10,3月） 自主点検管理 1回/週 ろ過装置保守点検業務 2回（7,3月）	1 管理保守点検等業務 ・建築物保守管理業務 職員による目視での点検 1回/週 受電設備点検業務 1回/ 2月 消防設備点検 2回（ 5,12月） 防火対象物点検 1回（12月） エアコン保守点検 2回（9,3月） 自動ドア保守点検 3回（7,11,3月） ボイラー保守点検 2回（9,3月） 自主点検管理 1回/週 ろ過装置保守点検 2回（9,3月）

・ 備品等保守管理業務	自主点検管理 1回/週	・ 備品等保守管理業務	自主点検管理 1回/週
-------------	-------------	-------------	-------------

		マイクロバス車検年1回、法定3か月点検実施	
・清掃業務	2回/月	・清掃業務	
		専門業者による清掃	2回/月
	6日/週	日常清掃	6日/週
		・植栽等維持管理業務	
	随時	庭清掃、下草刈り(職員)、除草剤散布	随時
・環境衛生管理業務	1回(3月)	・循環用配管清掃	1回(3月)
		ヘアキャッチャー清掃(職員)	毎日
		浴槽水質検査(専門業者)	2回(8,2月)
	2回(8,2月)	浴槽水質(残留塩素)測定	4回/日
	4回/日	浴槽水質(残留塩素)測定	4回/日
・ネズミ、害虫駆除	2回(7,1月)	ネズミ、害虫駆除	2回(7,1月)
2 修繕業務		2 修繕業務	
		適宜市担当課に連絡、実施	
		・ペレットボイラー部品交換・煙突掃除、空調機修繕、残留塩素ろ過機消耗品取替	
		・雨漏り報告(経過観察中)	
3 警備業務		3 警備業務	
		警備会社に委託	
4 除雪業務		4 除雪業務	
		職員により実施	
5 集金業務		5 集金業務	
		入浴料は券売機にて精算	
【防犯、防災、緊急時の対応】		【防犯、防災、緊急時の対応】	
・消防計画により訓練実施	2回(10,3月)	・消防計画により訓練実施	2回(10,12月)
		・高出5区との連携作り(防災訓練参加、防災倉庫確認)	
【職員研修】		【職員研修】	
		・社会福祉協議会職員研修	
		中堅職員研修	1人
		新人研修	1人
		交通安全研修	12人
		発展・強化推進研修	3人
		・職場外研修	
		松本圏域生活支援コーディネーター研修	1人
		地域見守り事業所研修会	1人
		認知症地域支援推進員研修	1人
		キャラバンメイト情報交換会	3人
		コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修	1人
		地域共生社会・地域作り研修	1人
		安全運転管理者研修	
		松本ブロック社協職員研修会(防災・地域)	2人
		キャリアパス研修(チームリーダー)	1人
		・職場内研修	
		利用者対応について	12回
		社協事業について	4回

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等		利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数		303日	304日	303日	100.3%
施設利用者数（全体）		34,500人	43,791人	36,212人	120.9%
施設利用者数（団体）		34,500人	12,649人	10,117人	125.0%
施設利用者数（個人）			31,142人	26,095人	119.3%
入浴者数		21,600人	25,743人	21,572人	119.3%
入浴券売上		5,616,000円	6,685,800円	5,536,500円	120.8%
健康相談		4,000人	5,003人	4,090人	122.3%
福祉相談		700人	1,020人	1,057人	96.5%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	・施設利用者は1日平均144人、R6年度利用目標に対して123%を達成しました。入浴、団体、機能訓練室、食堂利用と全体的に増加しています。職員の声掛けなど対応へ配慮し、使いやすいセンターにするための改善に心がけた結果、利用者から「また来たい。」等好評価をいただくことが多くなりました。 ・相談窓口の充実を図るため、昨年から続けて支部分会活動支援に関する研修（ボランティア保険等への対応）、元気づくり広場や福祉相談に関する相談への対応方法の確認を実施し、各職員のスキルアップを図りました。今後もより充実を図ります。 ・民生児童委員と連携して、困窮者への入浴支援をきっかけに生活が改善した事例があり、他の方の相談にもつながりました。しかしながら件数は少なく、今後相談員を主体に地域へのアウトリーチにて課題の発見、連携に力を入れていきたいと考えます。 ・e-スポーツを取り入れ、若い世代の居場所、ふれひろハッピーアワーを開催しました。若い世代の居場所では人数は少ないですが小中学生を中心に一定の利用者が定着してきました。学校等との連携を深め、子供の居場所として取り組みをすすめます。
施設担当の 評価・分析	職員間での情報共有や研修会の実施を通じて、職員のスキルアップが図られているだけでなく、実際に利用者からの高い評価につながっている。また、支部・分会支援、元気づくり事業が圏域に移管されたことにより、住民により身近な存在となり、地域の実状や課題にあった取り組みや支援を展開していただいている。今後も、より多くの世代への認知度向上や利用者増加に向けて、さまざまな工夫を凝らすとともに他機関との連携にもより一層取り組んでいただきたい。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

	項 目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料収入	39,570,000	39,836,440	39,570,000	100.7%
	・ 参加費収入	50,000	6,400	16,500	38.8%
	・ 利用料収入	5,636,000	6,685,800	5,536,500	120.8%
	・ 雑収入	212,000	296,207	214,523	138.1%
	・ 拠点区分間繰入金収入	0	0	137,000	0.0%
	収入計 (A)	45,468,000	46,824,847	45,474,523	103.0%
支 出	・ 人件費	24,351,000	23,675,580	21,219,307	111.6%
	・ 保健衛生費	176,000	116,461	155,682	74.8%
	・ 教養娯楽費	68,000	32,400	30,400	106.6%
	・ 水道光熱費	5,558,000	6,379,521	5,483,504	116.3%
	・ 燃料費	3,602,000	3,877,500	3,877,500	100.0%
	・ 消耗器具備品費	716,000	509,104	562,269	90.5%
	・ 保険料	369,000	311,370	323,700	96.2%
	・ 賃借料	234,000	158,400	166,870	94.9%
	・ 車輛費	166,000	169,133	260,922	64.8%
	・ 職員被服費	22,000	10,626	10,783	98.5%
	・ 諸謝金	1,523,000	1,511,730	1,532,700	98.6%
	・ 旅費交通費	10,000	3,545	0	0.0%
	・ 研修研究費	53,000	9,500	4,500	211.1%
	・ 事務消耗品費	173,000	131,370	44,800	293.2%
	・ 印刷製本費	7,000	36,025	0	0.0%
	・ 修繕費	668,000	355,960	650,210	54.7%
	・ 通信運搬費	358,000	303,726	277,929	109.3%
	・ 会議費	31,000	9,238	7,111	129.9%
	・ 業務委託費	2,939,000	2,949,209	2,843,547	103.7%
	・ 手数料	39,000	46,733	46,513	100.5%
	・ 保険料 (火災)	27,000	11,257	11,257	100.0%
	・ 賃借料	259,000	181,829	176,275	103.2%
	・ 土地・建物賃借料	149,000	138,240	148,992	92.8%
	・ 租税公課	3,000	2,000	1,800	111.1%
	・ 保守料	1,567,000	1,509,200	1,566,400	96.3%
	・ 諸会費	16,000	16,000	16,000	100.0%
	・ 雑支出 (退職年金事務費等)	40,000	37,824	45,426	1回 157人
	・ 退職手当、年金共済掛け金	866,000	968,374	1,159,515	1回 235人
	支出計 (B)	43,990,000	43,461,855	40,623,912	107.0%
	収支 (A) - (B)	1,478,000	3,362,992	4,850,611	
	・ 事務諸経費		3,362,992	4,850,611	69.3%

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	82.8%	82.8%
負債比率（（流動負債＋固定負債）/資本×100）	20.8%	20.8%
固定比率（固定資産/資本×100）	95.0%	96.3%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	516.2%	392.0%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	1.2%	1.5%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績（2024年3月現在）
所長 1名（常勤） コミュニティーソーシャルワーカー 1名（常勤） 支援員（常勤） 看護師 運転手 受付業務員 調理員 認知症地域支援推進員 防火管理者 安全運転管理者 衛生推進員 食品衛生管理者 （いずれかの職種が兼務）	所長 1名（常勤） コミュニティーソーシャルワーカー 2名（常勤） 支援員 3名（非常勤3） 看護師 4名 運転手 2名 受付業務員 4名 調理員 4名 認知症地域支援推進員 1名 防火管理者 1名 安全運転管理者 1名 衛生推進員 1名 食品衛生管理者 1名 （いずれかの職種が兼務）

ふれあいセンター広丘

所 長

指導員（CSW）	2名
支援員	3名
受付業務員	4名
看護師	4名
運転業務員	2名
調理員	4名

7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
ふれあいセンター広丘まつり	ふれフェス（3センター共催）（8月） 157人 10年目感謝祭（11月） 235人
アンケート調査 1回/年	アンケート調査 講座参加者 各1回 団体、個人利用者 各1回
苦情解決に関する委員会	苦情解決に関する委員会 1回

すみれ食堂 就労支援事業所生産品等販売	就労支援事業所4事業所の生産品常設販売、季節の地元野菜を販売		
	ゆずりあいボックスの設置 （利用者の提供する自分では使わない物品を使いたい方に提供し、SDGsを推進）		
	居場所の開催		
	・ふれひろハッピーアワー	12回	182人
	・若い世代の居場所	6回	27人

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制 健康福祉部 地域共生推進課

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	3	4	⑤	1	2	3	4	⑤
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	4	－	1	2	③	－	－
職員体制	7	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	1	－	③	4	－	1	－	③	－	－
	8	スタッフのシフトは適正であるか（労働基準法を遵守しているか）	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
(1) 評価点合計（16項目）			52					51				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
収支状況	21	1回 157人	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	1回 235人	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
(2) 評価点合計（8項目）			25					25				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(3) 評価点合計（16項目）			50					50				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 （満点164点）	指定管理者	127点	77.4%	施設担当課	126点	76.8%
-------------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	3	延べ利用者数はR6年度利用目標に対し123%達成。団体、個人等全体的に利用者が増えている。	3	小中学生の若い世代の新たな利用者層を取り込む仕掛けがされている。より多くの世代への認知度向上に一層努めてほしい。
	4	法人防災計画、BCPマニュアルに従い訓練を実施。地元区の防災訓練の前にそれぞれの防災倉庫を確認し、備品や作動チェックを実施。防災訓練に参加。	4	今後はさらに、福祉避難所の在り方や立ち上げ方法について、共に検証を進め、災害に備えた体制作りを進めていきたい。
	9	相談窓口機能の充実を図るため職員研修を実施。来館者からの情報を共有し、課題を支援につなげられるよう研修した。また支部分会支援に関する研修を継続支充実を図った。	9	総合相談機能の強化や、利用者の多様化が進む中、様々なニーズを想定した研修の充実などに今後も継続して努めていきたい。また、支部分会支援を通じて、地域の実情に合った地域支援を行っていただきたい。
(2) 収支等の評価	17	法人の会計規則に則り、適正に管理している。	17	法人の会計規則に則り、適正に管理できている。
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行した。	21	適切な予算執行に努めることができている。
	20	複数職員での確認と担当課による管理にて、適切に管理している。	20	入浴料金の見直しを検討しているため、それに伴う効果や課題について、共に検証していきたい。
	24	塩尻市事業所間取引券を購入し、材料費・事業費に充て節約に努めた。	24	定められた指定管理料の範囲内で施設管理について工夫し、経費削減に努めている。
(3) サービス等の内容や水準	28	利用者からの意見、アンケート結果から可能な限り要望や苦情に対応している。入浴マナー、備品の設置、講座の内容、職員対応などへの意見がある。	28	利用者の意見やアンケート結果を丁寧に拾い上げ、改善に努めている。引き続き、意見を適切に整理・分析し、優先順位をつけながら体制の整備に努めていきたい。
	33	3センター共催のふれフェス、10年目感謝祭を実施し、新しい利用者への周知に努めた。eスポーツを用いて居場所を開催し交流と居場所としての利用促進に取り組み一定の参加がある。	33	イベントやeスポーツ等のツールを通じて周知を行い、利用者の拡大に努めている。今後さらに、こうした取り組みを通じて、利用が定着していくことと共に、福祉の総合相談窓口としてもより広く認知・活用されていくことを期待したい。
	34	講座の開催には高齢者向けに新聞告知、チラシの各所への配布等に心がけ、若者向けにはLINEを利用した周知、学校教育課と連携してメール配信を行い周知し参加促進を図った。	34	ターゲットとする年代に応じた周知の方法を工夫されており、学校教育課等、行政や他機関との連携も図れている。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	■自己評価 ・新しい利用者が団体、入浴、食堂、運動全般的に増え、結果20%程度の利用増となりました。口コミ、ネットから利用につながるケースを確認でき、アンケートでは職員の丁寧な対応への評価をいただきました。 ・昨年から継続し、実際の対応をとおして窓口対応等職員研修を実施した結果、各職員のスキルアップと窓口対応の充実につながりました。より近い場所での対応が可能になり、夜間、休日の利用があります。 ・花や野菜の差し入れを通じ館内が華やかになると同時に交流が生まれ、住民同士がつながるきっかけとなっている場面が増えました。 ・ご相談いただいた課題については対応できましたが、相談員が地域へ出て行く機会が予定より少なく、地域へのかかわりが進まない地区がありました。
	■今後の改善策（短期的に対応可能なもの） ・入浴料金の見直しを検討します。 ・ホームページ、インスタグラムなどの情報発信を増やして周知と利用促進を図ります。 ・センター開催講座と地域の居場所、分会活動などの状況を把握し、あり方について多角的に検討し、持続できる仕組み作りに取り組みます。 ・交流の場所、自分たちの身近な施設、相談窓口（地域福祉の拠点）を広く周知するため、チラシの配布、講座等での説明を行います。 ・R7年度防災講座の参加者を交えて、地域と連携した防災訓練及び福祉避難所立ち上げ訓練を実施し、災害に備えます。
	■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの） ・地域福祉推進員、総合相談マネージャー、各関係機関と連携し、地域共生社会の構築、全世代対応型支援体制整備事業を推進するため、ふれあいセンター機能の精査と充実を実施します。 ・防災拠点（福祉避難所）としての機能充実に取り組みます。
施設担当課	日々、丁寧な対応を続けていただいていることで、地域の方々からの信頼が築かれていると思われる。今後も、総合相談機能の強化や、利用者の多様化が進む中、様々なニーズを想定した研修の充実や体制の整備などに継続して努めていただき、福祉の総合相談窓口としてより広く認知・活用されていくことを期待したい。また、アウトリーチの強化や防災訓練及び福祉避難所の立ち上げ訓練等、地域の実情に合わせた取り組みをさらに展開していただきたい。